

# 経営戦略のポイント

- ✔ **減収に備え、利益の一部を貯蓄します。**  
 10年間利益の一部を貯蓄し、平成37年度までに9億円を確保。平成38年度以降はその貯蓄を取り崩し、当面の間は黒字を保ちます。
- ✔ **施設などの統廃合を進め、経費を削減します。**  
 将来の需要を予測した上で施設などの統廃合を検討し、維持管理費(経費)を抑制します。さらに、施設などを更新する際は、国の補助制度を積極的に活用します。
- ✔ **水道管は計画的に更新します。**  
 すでに布設している水道管は、安全性を見極め、優先順位をつけて計画的に更新します。
- ✔ **水道料は、平成37年度までは据え置く計画です。**  
 上記の3つのポイントで水道事業を展開することで、現行の水道料金(基本料金)を平成37年度まで据え置くことができると見込んでいます。 ※従量料金などについては、受益者負担の観点から定期的に見直します

計画期間  
**10年間**  
平成28年度  
～  
平成37年度

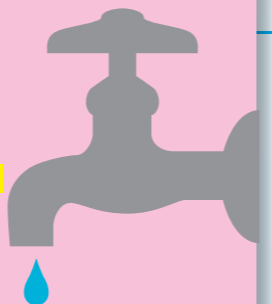
経営戦略の詳細は、市ホームページでも公開しています。 [遠野市 水道事業経営戦略](#) 検索

※1) 水道事業…水道事業は、市が有する企業(公営企業)が経営しており、経営に伴う収入をその経費にあてる独立採算方式をとっている(特別会計)。国は、経営が破たんしないよう、公営企業に対して経営戦略を策定するように指導している。  
 ※2) 水道管路の法定耐用年数…水道管の寿命の目安。地方公営企業法の施行規則では、「配水管」を40年と定めている。

## Info. 下水道事業も経営戦略を策定!

市は、水道事業と同様に、下水道事業についても経営戦略の策定を進めています。すでに、特定環境保全公共下水道(宮守処理区)の経営戦略を策定しました。同経営戦略の期間は平成28～37年度で、内容は宮守浄化センターの長寿命化や適正な使用料の検討などを盛り込んでいます。詳細は、市ホームページで公表しています。

さらに、市内全域の経営戦略についても平成29年度内に策定する予定で、現在は策定に向けた検討やシュミレーションを行っています。詳細が決まりましたら、広報遠野や遠野テレビ、市ホームページなどで公表します。



水道管の老朽化が進んでいます!

# 生活に欠かせない「水」を、しっかりお届けするために！ 水道事業経営戦略を策定しました!

市は、水道事業(※1)を安定的に継続するため、「市水道事業経営戦略」(以下、経営戦略)を策定しました。水道を取り巻く現状と、経営戦略の概要についてお知らせします。  
 ◎問い合わせ 水道事務所(☎62-2111内線351)

### 老朽化と人口減が経営を圧迫

私たちの日常生活において、無くてはならない存在の水道。しかし、本市の水道事業はピンチを迎えています。その理由の一つが水道管の

老朽化。昭和53～56年度に実施した上水道第一次拡張事業(総事業費約44億円)で整備した水道管路の法定耐用年数(※2)が、間もなく経過します。老朽化のピークは今から約8年後の平成37年度。水道管の更新には、多額の費用が必要で、もう一つの理由は人口減少。人口の減少に伴い、料金収入も減少しています。支出が増え、収入が減るといふ現状にあり、このままでは、近い将来、赤字経営に転じると予測しています。

来に渡り、安定的に経営していくことが求められます。そこで市は、水道事業を取り巻くピンチを脱するため、本年1月、経営戦略を策定。平成28～37年度の10年間の取り組みを明確化しました。

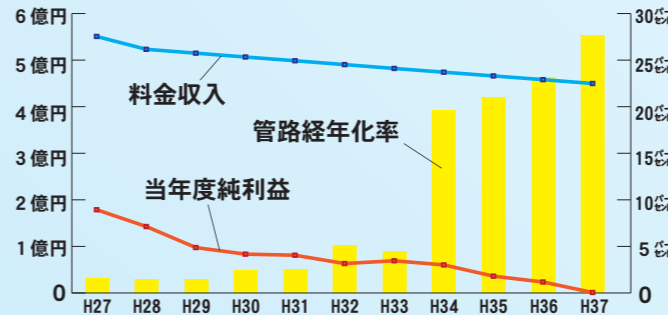
**貯蓄と経費削減で体質改善**

経営戦略では、まず、貯蓄と経費削減に取り組みます。利益の一部を繰り越すことで、平成37年度までに9億円を貯蓄。赤字に転じる平成38年度以降に取り崩すことで、当面の間は黒字化できる見込みです。さらに将来の需要を予測して、施設や設備などを

## 現状を分析

- ✔ 水道管の老朽化は平成37年度がピーク。
- ✔ 人口減少に伴い料金収入も減少。
- ✔ 平成38年度以降、経営が赤字に転じる可能性あり。

料金収入、当年度純利益、管路経年化率の推移と予測



**当年度純利益**  
1年間の利益額。この数値が0を下回れば赤字経営とされる。

**管路経年化率**  
市内の全水道管のうち、法定耐用年数を経過し、交換の必要がある水道管の割合。



**経営努力で水道料は据え置き**

老朽化が進んでいる水道管については、安全性が確保される範囲内でできるだけ長く使う考えです。老朽化のピークは平成37年度。それまでの

間に、貯蓄と経費削減をしっかりと行い、計画的に水道管の更新に取り組みます。

経営戦略では、これらの経営努力を重ねることで、市民の皆さんからいただいている水道料金は、平成37年度まで現行のまま据え置くことができる見込んでいます。

計画期間中は、毎年度ごとに事後検証を実施。計画と実績に差が生じた場合は、その原因を徹底的に分析し、必要に応じて取り組みを見直していきます。